

大阪府社会福祉会館耐震化竣工

住みながら耐震補強で施工

工ム
谷オーム
長リフ

長谷工リフォームは、50万戸のマンション改修実績と「住みながら改修」のノウハウを生かして非住宅分野にも積極的に取り組む、事業領域を拡大しており、今回、大阪市中央区の大阪府社会福祉会館における耐震補強工事が竣工した。

河合英樹代表取締役社長は「大阪府社会福祉会館は今年築50年を迎える歴史ある建物であり、社会福祉関連の団体が数多く入居されることも、多くの方が会議室を利用され常に賑わっている。このような会館を利用されている方の命を守る耐震化工事に当社が携われたことは非常に感慨深



大阪府社会福祉会館・外観

い。耐震化を決意された大阪府地域福祉推進財団に敬意を表するとともに、工事中の協力に心より感謝を申し上げます。地震はいつどこで起きるかは分からず、建物に住まう人の命を守る耐震化工事の社会的意義は大きい。今後も当社の技術力やソフト力を活か

し、耐震化を促進することで社会に貢献していきたい」としている。本会館は、大阪市中心部の交通至便な立地に社会福祉関連団体が集積する希少な施設であり、工事中にテナントが一時的に移転するなどの負担を避けるため、「住みながら改修」のノウハウを生かし、テナントが事務所内で執務を継続する状態での「住みながら耐震補強」で施工した。仮設間仕切りで事務所内を工事エリアと執務エリアに区画して粉塵対策を施し、外部に枠組足場を組み、資材の搬入・搬出は窓から実施した。騒音・振動の比較的小さい鉄骨プレ

ス接着工法を採用、音の発生するモルタルの研り作業は執務に影響の少ない土曜・日曜に実施した。耐震補強材の上には木製の柵板を設置することで空間がなごむ内装に仕上げた。

概要は、大阪府社会福祉会館（68年竣工）、RC造地下2階地上5階建（陸屋根）延6686・47平方メートル（建築面積980・39平方メートル）の耐震補強工事。耐震工法は鉄骨ブレース接着工法、施工箇所は1〜3階部分の躯体の耐震補強、1階外部サッシの一部更新、他。工期17年9月1日〜18年1月31日。場所は大阪市中央区谷町7-4-15。発注者／大阪府地域福祉推進財団、設計／宮本建築事務所、施工／長谷工リフォーム（現場代理人 門倉康記）。